

昭和35年才1回定例

したものです。

〇〇―八郷町公民館

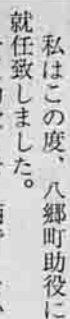
〇〇―八郷町営土地改良事業の
賦課徴収条例の制定―当町の

この事業を推進するために、町営事業としてとりあげ、県費補助の獲得に努力する一面、受益者にも現金、労力、あるいは現品を負担してもらうよう土地改良法によって出た条例です。

○固定資産評価員の選任――

◎！固定資産評価員の選任！
（固定資産評価員は、町長の

助役 藤代 遠



今更助役と云う柄でもない
と思いましたが、約八ヶ月も
助役なしで居られた町長の勞
苦をお察しすると共に、満場
一致同意された議會議員の御
厚意に感激し、町の為に微力
を捧げようと云う氣になりま

した。
八郷町は、地積が广大で、
地味も肥沃であり、天然資源
も豊富な、恵まれた町であり
ます。
私は、こうした恵まれた郷
土を、更によりよき平和な豊
かな町にする為、町長のよき
相談相手となり、町の行政に
精進する覚悟でございます。
町民の皆様には挙って積極的
な御協力をお願い致します。
簡単ですが就任の挨拶と致
します。

略歴

明治三十二年十一月十八日
大字小山田に生る。

年の後、昭和十六年六月望まれて芦穂村長に就任、村長二期、同二十一年十一月追放、同二十六年追放解除、芦穂村農業委員三期、引き続き芦穂村教育委員となり、同三十年八郷町発足とともに、八郷町教育委員三期（公選一期、任命二期）を勤め現在に至る。

その間、民生委員十一年、P.T.A会長十二年など歴任。

現、新治郡P.T.A連絡協議会副会長、八郷町P.T.A連絡協議会会長、八郷町公民館審議委員会委員長、八郷町民生委員、八郷町栗振興協議会会長、八郷町柿振興協議会会長、芦穂中学校P.T.A会長などの要職にある。

一昨年の三月二十五日。一瞬にして百八棟を全半焼、約五千万円が灰になつてゐる。最近も相ついで火災が発生、こゝしに入つてから既に十件、いづれも大火にならずに済んでゐるのは、不幸中の幸いだが、これが三・四月になると、大火になることは、まず間違いない。とにかく、春さきは大火が多い。なぜだろう。

もっとも重大な原因は、気象条件が悪いからである。異常乾燥の状態が強風が吹くと

こしは既に十件発生
春さきは大火が多
火気の取扱いに
緯の通過により風向も急変するから火災にとっては、まさに最強敵です。一年を通じて最高風速を示すのがこの春さきて、湿度も低く、時には異常乾燥することもある。だから

い
注意!!

もう一つ大きな原因は、寒気がゆるむとともに、心の緊張もゆるみ、注意力が欠けてくることです。火気について関心がうすくなり、取扱いが粗末になることも考えられる。

さらに、今まで家の中に閉じこめられていた幼児が戸外に開放されて、芝焼きなどをするのも原因の一つになっている。

ともあれ家庭においても野外においても、火気の取扱いに注意することが第一です。

指示で固定資産を適正に評価して、町長が行う価格の決定を補助するための仕事です。飯島寛氏の死亡で、欠員となっていた固定資産評価員は、税務課長の久大保寛治氏を選任、議会の同意を得た。

○八郷町助役の選任―昨年六月三日、桜井嘉幸助役が退任したあと、空席となっていた助役は大宇小山田の藤代遠氏に、議会議員全員の同意を得て決定、八月月ぶりで八郷町助役が誕生した。

酪農振興対策委員会発足さる

酪農振興対策委

当町は、土浦集約酪農地域として、昭和三十年十二月、酪農振興法によって指定されて以来、酪農の振興に關し、乳牛の導入事業、草地造成改良事業などいろいろ手を打って來ました。

今回、酪農振興法によって県内十四ヶ町村と共に、本町も、本年度酪農經營改善計畫実施町村として、農林省より

指定をされた。

まづ、当町の環境に一致するような酪農の振興策とするため、一月十八日、八郷公民館で、酪農振興対策委員会を結成、今後における酪農事業には、明るい希望が持たれることになった。

委員会の構成は次の通り

○会長 関野信平

○副会長 滑川好道

写真『小山田農研の養豚について』の発表



農事研究会 実績発表会
青少年クラブ

最優秀賞は 田上さん (青田農研)

第六回の八郷町農事研究会
青少年クラブの、実績発表会
が、二月十六日午前九時から
八郷公民館で、多数の来賓と
農研会員や、一般など百数十
名が参加し、麦類と水稻の多
収穫共進会の表彰式とあわせ
て行なわれた。

これは、八郷町農事研究会
連合会が、八郷地区農業改良
普及所の後援で年一回ひらく
もので、農研連合会設立の昭
和三十年の第一回から、こと
しは第六回をむかえ、年々さ
かんな研究活動意欲が会場に
あふれている。

八名の代表から、この一年
を通じて体験し、研究した身
近かな、貴重な実績が発表さ
れ、その成績と、共進会の主
な受賞者は次のとおりです。

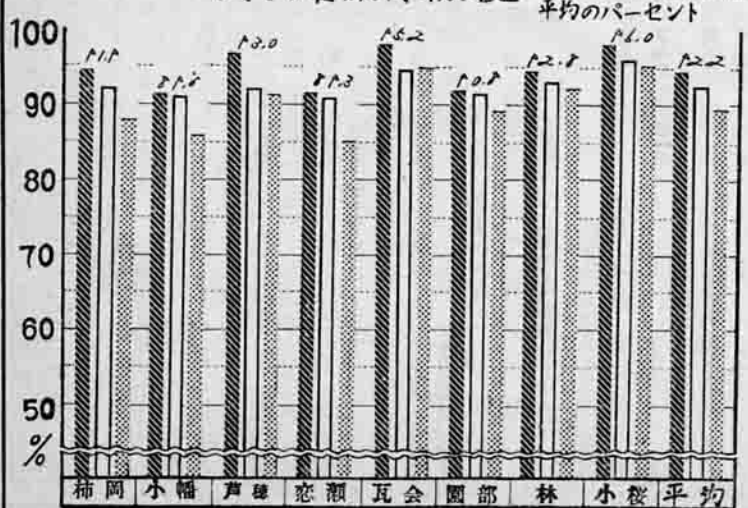
実績発表会

最優秀賞（八郷町農研連合

會長賞)
「養豚三年の歩み」
青田農研 田上好一
特別賞―県農業政良事務局
長賞―県農業改良普及事業推
進協議會長賞、県議會議員・
桜井平左衛門賞、八郷町長賞
優秀賞（農研連合會長賞）
「二斉協同防除を実施して」
根小屋農研 島田正稔
特別賞―県農業改良事務局
長賞、県農業研究クラブ連絡
協議會長賞
麦類および水稻共進會
水稻の部一等
鯨岡農研 飯田忠一
特別賞―県農業改良事
務局長賞、八郷町長賞
大麦の部一等
宇治會農研 稻見景二
特別賞―右同
小麦の部一等
野田農研 鈴木充雄
特別賞―右同

昭和34年度 町税納税成績 35.1.31現在

町民税 〇〇〇〇 固定資産税
国民健康保険税 グラフ上部の数は三桁



保育所新入所児童募集

募集児童数 40名
申込締切り 2月29日
児童年令 0才より学校入学
までの児童(なるべく生後1年
までの児童を希望)
入所期間 小学校入学まで
申込 役場厚生課又は各支
に準備の申込用紙による
(くわいせきとは役場厚生課へ)
お問い合わせください

2月の納税

固定資産税

—第 4 期—

29日限り

募集“懸賞標語”

○課題 昭和35年国勢調査
○応募期間 3月1日～31日まで
○応募方法 1.ハガキ1枚1題で、末尾に住所、氏名(ふりがな)、性別、年令、職業、勤務先を記入。
2.表に「標語」と朱書する。
○提出先 東京都千代田区三軒町五
行政管理庁統計基準局内 全国統計
協会連合会
○表彰と賞金 1等入選1点(賞状・賞金5千円)その他

